

# 座談会

## 一貫教育に向けて 学校区での取り組み



星野順一郎市長



吉川廣一校長  
(布佐小学校)

市では、「豊かな心 確かな学力 健やかな体」の育成をめざすひとつの方策として、昨年「小・中一貫教育の研究・推進」に取り組んでおり、各中学校区が一体となって、我孫子の特色を生かした魅力ある教育を推進しています。こうした中、すでに小・中学校の連携した取り組みを実践している布佐中学校区の3校の校長先生をお招きし、これまでの取り組みや今後の抱負について伺いました。

### 地域の特色を生かし、 小・中で連携した取り組み

星野市長(以下市長)

皆さんあけましておめでと

うございます。我孫子市でも昨年から、小・中一貫教育を推進するための委員会がスタートしました。本日は、すでに小・中の連携した取り組みとして「ふさカリキュラム」

上野布佐南小学校長(以下上野)

「ふさカリキュラム」では、小学校3年から中学校3年までの7年間を通じ26時間で1

※を実施している布佐中学校区の校長の皆さんをお招きしました。よろしくお願ひします。まず、このカリキュラムをつくることになったきっかけをお聞かせください。

杉橋布佐中学校長(以下杉橋)

小・中を接続するツールとして、イベントや行事ではその場だけになってしまいうことが多く、校長や教師が変わるとたち切れになってしまいうこともありまう継続して取り組めるものとして、3校をつなぐにはカリキュラムが必要だと考えました。



単元の授業カリキュラムを開発してきました。

吉川布佐小学校長(以下吉川)

コンセプトは、地域の方々と一緒に、地域にある素材を発掘し、教材化する。「地域貢献する子どもたち」を育成するという事です。

市長 小学校での取り組みが、そこだけで終わってしまうのはもったいない。中学校までつなげていくとさまざまなことが広がっていくし、レベルも変わってくる。地域との連携も深まっていくと思います。

小・中の間で学力に応じた取り組みをすることが出来ます。

杉橋 子どもたちは普段から布佐という地域で生活しています。小学生から中学生へと成長しながら、生活の範囲を広げつつ、地域とのつながりを深めています。子どもたちの健やかな成長のカギは地域にある。そして、布佐という地域にはそれだけの教育力があると考えています。

地域の役に立ちたい、貢献できる子どもを育てたい。こうと3校の校長が話し合い学校運営の理念を共有しました。

布佐小、布佐南小、布佐中がこの先もずっとつながって、布佐のまちを支え続けられる人材を輩出する地域の学校でありたいと思っています。

市長 地元に着用を持つという事は大事です。そうであれば地域に貢献したいと思わぬですね。この取り組みは、地域の方に学校に来て

#### ふさカリキュラム

布佐のまちを支え続ける人材を輩出する地域の学校をめざし、布佐の文化・歴史・風土・人・まち・くらし・まつり・水害などをテーマとして学びの段階ごとに小3から中3までをつないだ小中一貫の教育課程。布佐小・布佐南小・布佐中学校で連携し実践していく教育として平成23年から実施。

#### 博報賞

学校や団体、教育実践者を顕彰することを通して、児童・生徒の豊かな人間性を育成することを目的としている。第44回目となった平成25年度は全国89件の中から、布佐小学校が見事受賞。(主催 公益財団法人 博報児童教育振興会)

#### FUSA MY プロジェクト

同一地域にある、布佐小・布佐南小・布佐中・我孫子東高校が、まちづくりの視点を取り込んだ学校運営をめざし、地域の皆さんの力を借り、資質・能力を備えた児童生徒を育成し、「地域の未来を担う人材」を育てるためのプロジェクト。平成22年からスタートし、「あいさつ運動」や「英語の授業相互見学」の実施、「ふさのまちマップ」を作成中。

#### 中1ギャップ

中学校1年生の段階で学習意欲の低下が見られたり、問題行動や不登校生徒が増加したりする現象。

もらい、布佐の歴史や文化などさまざまな話をしてもらおう。また、地域に出て行って、地域の話を聞きながら、勉強するところから始まったと記憶しています。布佐小学校では「ふさカリキュラム」に先駆けた取り組みを実施していると聞きました。

吉川 地域を学ぶ取り組みとして「布佐学習」を実施しています。子どもたちが地域学習に取り組みむことで、自分たちのまちに愛着を持ち、先人たちの取り組みに誇りを持つてもらおう。教師もこの歴史ある素晴らしいまちの一員として、布佐をさらによくしていききたいと思う子どもたちの育成を願ひ、活動を開始しました。

学校の外に出て、地域の方々に布佐の歴史や行事のことを聞きながら学習しています。「布佐カルタ」や「布佐マップ」「竹内神社の伝説」など地域の情報発信に



▲博報賞受賞風景

役立つ成果物もできましたし、今後も継続的な取り組みを期待しているところです。

市長 布佐小学校は永い伝統がありますからね。地域住民からすれば「おらが学校」という地元への強い愛着心があると思います。そういえば、布佐小学校は、昨年「布佐学習」で「博報賞」を受賞しましたね。おめでとございます。吉川 ありがとうございます。